

自然体験指導者養成事業

幼児期における自然体験活動指導者研修会

1 ねらい

保・幼・小の保育士や教員を目指す学生が、幼児期からの自然体験活動の意義を体験的に理解する中で、自らの資質向上を図る。富山大学・富山福祉短期大学と連携しながら、同時期に開催している幼児キャンプの参加者と直接かかわり合う機会を設け、幼児の自然体験活動推進のための研修を行う。

2 期日

平成28年10月14日(金)～16日(日) 2泊3日

<事前説明会>

平成28年 9月5日(月) 富山福祉短期大学

平成28年10月5日(水) 富山大学

3 対象

保・幼・小の保育士や教員を目指す
富山大学・富山福祉短期大学の学生

4 参加人数

67名(富山大学20名、富山福祉短期大学47名)

5 講師・スタッフ

金沢大学大学院教職実践研究科 教授 松本 謙一 先生
富山大学人間発達科学部 教授 小林 真 先生
富山大学人間発達科学部 准教授 若山 育代 先生
富山福祉短期大学幼児教育学科 講師 高見 泰子 先生
富山福祉短期大学幼児教育学科 助教 岡野 宏宣 先生
国立立山青少年自然の家 研修指導員 岩城 俊平 先生
国立立山青少年自然の家 職員



6 後援

富山県教育委員会、富山県国公立幼稚園・こども園教育研究会
富山県私立幼稚園・認定こども園協会、富山県保育士会



7 日程

	午前	午後	夜
10月14日(金) 1日目			開講式 実習：アクティビティづくり
10月15日(土) 2日目	講義：幼児期における自然体験活動の意義・留意点等 実習：アクティビティづくり	実習：アクティビティづくり リハーサルⅠ・Ⅱ 実習：幼児の活動の様子を観察	実習：ビデオ視聴 実習：アクティビティづくり リハーサルⅢ
10月16日(日) 3日目	実習：アクティビティ実践	実習：野外炊事 ふり返し 閉講式	

8 参加者からの感想

- 短い時間の中で、アクティビティの計画から準備、そして実践までを全てを行い、活動を完成させるよい経験になりました。話し合いでは、同じ大学の友達がグループにおらず、自分の意見を言いにくかったが、実際の現場でもこういう状況があるかもしれないと感じながら参加しました。
- 自然の中には危険がたくさんあり、その危険を意識しながらアクティビティを考えることができました。これまで安全管理について意識することがありませんでしたが、今回の活動を通して、子供たちの安全を確保する大切さに気付きました。

9 成果

- 同時に開催する「やんちゃキッズの大冒険」に参加する幼児がアクティビティを行う際、安心して取り組んでもらえるように事前に紹介の時間を設けた。そのことにより、本事業で考えたアクティビティを楽しみにし、意欲的に参加する幼児の姿が見られた。

10 今後の課題

- 富山大学と富山福祉短期大学の2大学からの参加人数に偏りがあり、同じ大学の参加者がグループに一人しかいない場合があり、精神的な負担を感じる参加者もいる。他とよりよくかかわり合いながら取り組むことも大切な体験であることを伝えるとともに、グループ編成で富山大学と富山福祉短期大学の学生の人数が同数になるように配慮する必要がある。